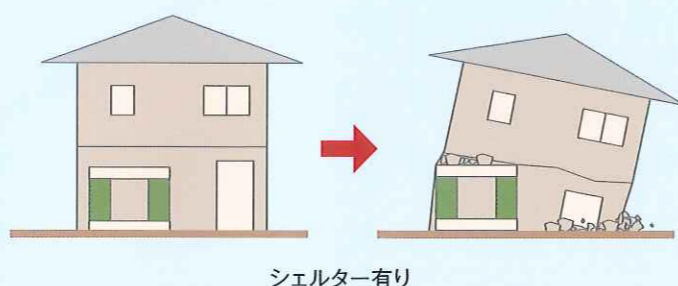
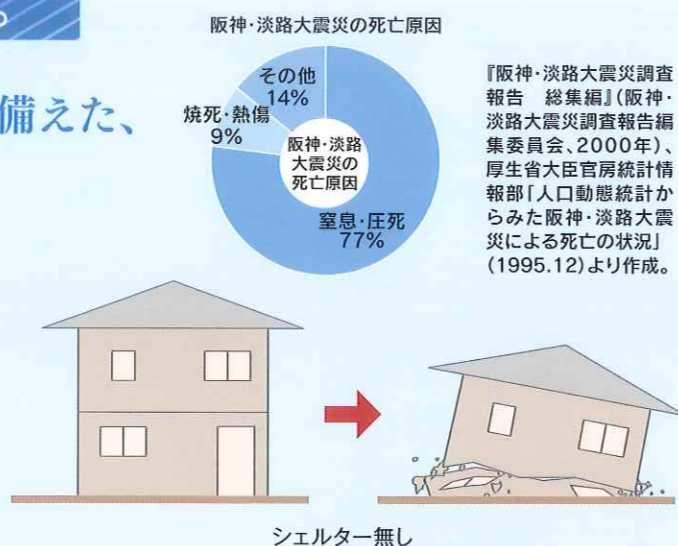


大切な家族の命を守る。

災害時、万が一の住まいの倒壊に備えた、ヤマダホームズの耐震シェルター

阪神・淡路大震災で亡くなった方の原因の約3/4が「圧死」によるものでした。家屋の倒壊における生死の決定は、災害時の事前の備えにより左右されます。十分な耐震設計をしていない2階住宅の場合、大きな縦揺れ地震が起こった際、1階部分が倒壊し、2階部分がそのまま押し掛かってくるという事例が多く発生しております。

ヤマダホームズの提案する耐震シェルターは、建物1階部分に設置することで2階部分の倒壊、圧力に耐えられる高強度を持つ耐震シェルターです。



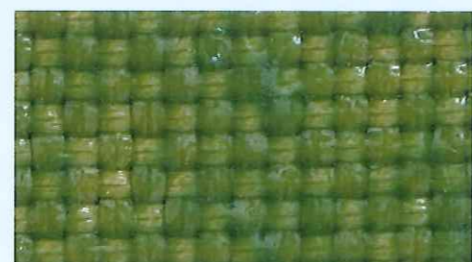
高性能な耐震シェルター

高強度の木質パネルをさらにアラミド繊維で補強。

落下物からも内部を守る高性能シェルター。

アラミド繊維

防弾チョッキにも使用されるアラミド繊維を縦横2方向に織り込んだシートで周囲を補強。梁材などの突起物による衝撃でも外壁を突き抜けることはありません。また、有機繊維で非導電性のため、電気障害も起こしません。



橋脚の耐震補強にも使用されている素材です。

高強度パネル

阪神・淡路大震災や東日本大震災でも全壊・半壊ゼロの実績を持つ、オリジナル認定工法「SxL構法」で使用している木質接着パネルを使用。地震時にかかる荷重を面全体で分散させるため変形が少なく、荷重を開放した際には自立復元する高剛性と粘り強さをもっています。



各種強度試験にもクリア

実寸大のシェルターで、各種強度試験を実施。

信頼できる実験結果と性能を確立。

圧縮耐荷重試験

100t以上の圧力を加える圧縮耐荷重試験において、シェルターは9mm以下の歪みしか発生しません。これは象が20頭乗っても耐えられる値に相当します。建物2階部分がそのまま押し掛かっても十分な性能を保ちます。



荷重計測モニター



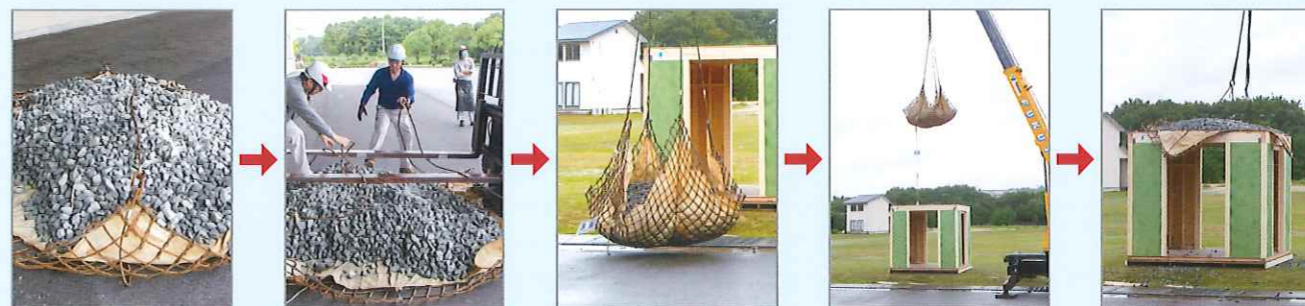
鉛直加力機

埼玉県建材試験センターにて鉛直荷重テストを行いました。

落下物試験

1.5tのガレキを、3mの高さから落下させた試験。

突き出た角材などの衝撃や落石などから、シェルター内部を守ります。



大掛かりな施工は必要ありません。



俯瞰図



設置イメージ

ヤマダホームズの耐震シェルターは、すでに建築された住まいの中に設置する事も想定しています。建物の構造躯体とは切り離れた、設置型の構成なので、今ある生活の中に設置が可能です。普段はキッズスペースや就寝スペースとしてご使用いただき、いざという時の避難スペースとなります。